

福岡大学医学部 英語

2022年2月2日実施

〔I〕

このように（賢明さに）理解力と正しい判断力が含まれていることにより，賢明であるということとは頭が良いということと同じではないという事実が浮き彫りになる。「賢明な人」とは，知能指数が高い人や事実や数字（正確な情報）を巧みに操ることができる人を意味するのではない。

〔II〕

22	23	24	25	26	27	28	29
1	1	1	3	1	5	1	7

〔III〕

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)	(g)	(h)
30	31	32	33	34	35	36	37
1	3	2	2	2	4	1	2

〔IV〕

(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
38	39	40	41	42	43
2	3	5	1	4	3

〔V〕

	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)
A	44	45	46	47	48	49
	7	6	4	1	5	3
B	50	51	52	53	54	55
	6	2	5	1	3	7
C	56	57	58	59	60	61
	6	3	7	5	1	2
D	62	63	64	65	66	67
	6	4	2	3	5	7

- 〔Ⅰ〕 人間同士の対立を解決する際の洞察力と技量は、賢明さの特に重要な要素であると長く考えられてきた。ウェブスターの辞書において、賢明さが3種類に区別されていることからそれがわかる。その3つとは、 **knowledge** , つまり積み上げられた哲学や科学の知見； **insight** , つまり内面の性質や関係性を理解する能力；そして **judgement** , つまり正しい判断力である。このように（賢明さに）理解力と正しい判断力が含まれていることにより、賢明であるということは頭が良いということとは同じでないという事実が強調されている。「賢明な人」とは、知能指数が高い人や、事実や数字（正確な情報）を巧みに操ることができる人を意味するのではない。

〔Ⅱ〕 11, 13, 15, 17

- 11** : 選択肢は、「自動化に職を脅かされはじめているのは工場労働者だけではない」という意味である。第1段落第3文の “Workers in factories and in offices have seen more and more of their work done by robots and computer programs” から 工場労働者だけでなく, “workers in offices” 「オフィスワーカー」の仕事もロボットやコンピュータによってなされるようになっていくことが分かる。したがって、選択肢は正しい。
- 12** : 選択肢は、「社会問題と自動化の間には何の関連もない」という意味である。第2段落第2文は、「自動化が関係する失業によって麻薬乱用などの社会問題が大幅に増加した」という内容であるから、自動化と社会問題の間には因果関係が成立する。したがって、選択肢は誤りである。
- 13** : 選択肢は、「UBI を利用すれば、企業が従業員ではない人たちを支えなくてはならず、そのためにはより多くの税金を支払う必要がある」という意味である。第3段落第2文に UBI の考え方が示されており、「企業や富裕層への課税を通じてハイテク経済が創出した富を UBI として分配する」という内容から、UBI の財源の1つは企業への課税であることが分かる。したがって、選択肢は正しい。
- 14** : 選択肢は、「2012年にドイツで行われた研究の対象になった人々が定年年齢に達した後の方がより幸せになったのは、自分の仕事が好きではなかったからである」という意味である。「自分の仕事が好きではなかったから」という理由は本文に書かれていないため、選択肢は誤りである。
- 15** : 選択肢は、「仕事を辞めた後も人々の満足感は大して変わらないということを示す研究がある」という意味である。第4段落第7文に、仕事をしていて人が退職しても人生の満足度はほとんど変わらないということを示す研究があるということが述べられており、選択肢の内容と合致する。
- 16** : 選択肢は、「もし UBI を受給した人々が、それをある種の早期退職とみなすならば、自分に対してあまり良い気分にはならないだろう」という意味である。第4段落第8文では、「UBI が自尊心に与える影響は、それを早期退職のような真つ当なものであると思えるかどうかによって大きく左右される」と書かれていることから、UBI を 早期退職とみなすと良い気分にはならないとする選択肢は誤りである。
- 17** : 選択肢は、「バンクーバーの研究者は、ホームレスの人々がもらったお金を無駄遣いするのか、それとも責任を持って使うのかを調査した」という意味である。第5段落第1文では、「UBI に対する反論として、働かずにお金だけをもらうことで無責任な暮らしを送るようになる」という指摘がなされている。そして第2文以降では、ホームレスの人々に自由に使える多額の現金を与え、その使い道を調べる社会実験について述べられていることから、この実験は第1文で示された反対意見が正しいかどうかを検証する目的で行われたものであることが分かる。したがって、選択肢は正しい。
- 18** : 選択肢は、「専門家たちは、他の研究で分かったことが原因で、バンクーバー研究の被験者であるホームレスの人々がお金をもらっても、アルコールや煙草に使うお金の額がそれ以前より減ったことに驚いた」という意味である。選択肢は驚いた理由を “what they knew from other studies” としているが、第6段落第4文では “This surprising result” 「この驚くべき結果」となっており、This の指示内容は直前の第3文であって、選択肢にある第4文の “those of many other studies” のことではない。したがって、選択肢は誤りである。

- 19 : 選択肢は、「バンクーバーの研究から1つわかるのは、少額を定期的に支給された場合に UBI の効果が最大化される、ということである」という意味である。第6段落第5文では、「多額の現金を即金で支払うことによって、長期的な人生設計を少額ではなしえない水準にまで促すことができる」ということが書かれており、多額の現金給付がその後の人生に大きな効果をもたらすということが分かる。したがって、選択肢は誤りである。
- 20 : 選択肢は、「政府が UBI を支給することの難しさに我々は驚く可能性があるということが、ホームレスの人々を対象とした研究で示されている」という意味である。このようなことは本文では述べられていない。したがって、選択肢は誤りである。

〔Ⅲ〕 (a) 1. the way

“Smartphones have greatly changed (**the way**) we live, work and communicate.”

「スマートフォンは、私たちの生活、仕事、意思伝達のやり方を大きく変えてきた」
空欄の直後が完全文になっているので、これは 2. の of とは共起しない。3. は “the way” か how のいずれかを削除すべきであり、4. は “the way in which” としなければならない。

(b) 3. would have driven

“We (**would have driven**) there, but decided it would be easier to take a taxi instead.”

「私たちは車でそこに行くつもりだったが、そうせずにタクシーを使う方が行きやすいと判断した」

but 以降が過去時制であり、タクシーを利用しようという内容になっていることと併せて判断すると、“would have done” によって「実現しなかった過去の意志」を示すのが適切である。

(c) 2. If only I had brought

“It’s raining. (**If only I had brought**) my umbrella today.”

空欄の前で雨が降っている状況が設定されているので、“If only S had done” 「S が do してさえいたらよかったのに」を用いて、傘を持ってこなかったことを後悔する内容にする。

(d) 2. When not served with

“(**When not served with**) cream on top, this sweet food becomes a healthier option.”

「上にクリームが添えられていなければ、このお菓子はもっと健康的な選択肢になる」
各選択肢に分詞が含まれているが、いずれも文全体の主語である “this sweet food” を意味上の主語として考える。そうすると受動の形になってない 3. と 4. は不適切であることがわかる。
1. と 2. は接続詞が異なるだけであるが、healthier 「もっと健康的」と書かれていることから、「クリームがのっていないければ」という「条件」の内容にするのが自然な文脈となるため、2. を正答と判断する。

(e) 2. persuade

“Nobody could (**persuade**) her to change her mind.”

「誰も彼女を説得し、決心を変えさせることはできなかった」
空所の直後に “O to do~” の語順がとれるのは選択肢の中で persuade だけである。
“persuade O to do ~” で「説得して O に~させる」という意味となる。

(f) 4. assume him to be

“I (**assume him to be**) a nice man.”

「私は彼はいい人だと思う」
“assume O to be C” で「O を C であると思う」という意味となる。

- (g) 1. advised seeing a doctor immediately

“She (**advised seeing a doctor immediately**).”

「彼女はすぐに医者に見せるように勧めた」

advise は目的語に動名詞をとり、「～することを勧める」という意味となる。

- (h) 2. him to fill out a form

“The police required (**him to fill out a form**).”

「警察は彼に書類の必要事項を記入するように要求した」

“**require O to do**” 「**O** に～するように要求する」という意味となる。

- [IV] (a) 2 triangle [ái]と同じものは microphone

1. estáblish [é]

3. dándgerous [éi]

4. áirplane [éə]

5. bríefly [í:]

- (b) 3 oppónent [óu]と同じものは póstal

1. sómebody [Á]

2. móvement [ú:]

4. sólíd [ó]

5. dráwing [ó:]

- (c) 5 cónscience [ó]と同じものは próperty

1. díamond [ái]

2. confrónt [Á]

3. Rússian [Á]

4. cléarly [íə]

- (d) 1 súrplus [ó:]と同じものは préfér

2. Mónday [Á]

3. bútterfly [Á]

4. bláckboard [æ]

5. pursúit [ú:]

- (e) 4 préjudice [é]と同じものは sénate

1. mórtgage [ó:]

2. décent [í:]

3. lándscape [æ]

5. pólice [í:]

- (f) 3 tóothache [ú:]と同じものは júnior

1. wóoden [ú]

2. Austrália [éi]

4. pláinly [éi]

5. manufácture [æ]

- [V] A. 7 6 4 1 5 3

Having been working too hard lately, I'm going to **take a leave of absence** from tomorrow **for the sake of** my health.

並び替え箇所の直前が “I'm going to” となっているため、(a) に動詞の原形である take を置き、“take a leave of absence” 「休暇を取る」を続ける。後半は日本文にある「健康のために」を入れることが自明なので、“for the sake of” 「～のために」とする。

- B. 6 2 5 1 3 7

Doing something unexpected when facing the same old problems increases **your chances of** a positive outcome.

日本文と与えられている英文から、「～な時に意外なことをすることが...の可能性を高める」という意味の英文を作ればよいことがわかる。そのため、前半の空所は動名詞の “Doing something unexpected” が入る。後半の空所は “your chances of” 「～の可能性」が入る。可能性を表す chances の後ろには、**同格を表す of** や that 節が置かれることが多い。

C. 637512

He developed a friendship with the person who sat next to him on his long train journey to Edinburgh.

日本文と与えられている英文から，“develop a friendship with～”「～と友情を築く」とする。日本文に「長旅で隣の席に座っていた人」とあるので、後半の空所は主格の関係代名詞 **who** のあとに続いて“sat next to him on his long train journey”と続く。選択肢 4. は beside 「～のそばに」ではなく、besides 「～に加えて、～の他に」であることに注意する。

D. 642357

The means we use to accomplish these ends should be subject to vigorous and open debate.

日本文に「これらの目的を達成するために用いる手段」とあるので、means の後ろには目的格の関係代名詞 which もしくは that が省略されていることを見抜いて“the means we use to accomplish these ends”と続ける。後半は，“vigorous and open debate”「活発で率直な議論」の前にくる形を考える。be subject to～「～を必要とする、～の影響を受けやすい」を入れることで文が完成する。

講評

- | | |
|--------------------|---|
| I [英文和訳] (やや易) | 下線部は昨年度同様やや長いが、文構造自体は標準的である。使われている語彙も難解なものはないので、文章全体の内容を理解した上で正確に訳出することが求められる。 |
| II [長文内容一致] (やや易) | 「ベーシックインカムと労働のあり方」に関する英文。文章内容・選択肢ともに平易で迷うところはない。 |
| III [文法語法四択] (標準) | 2020 年度、2021 年度は「適していない」選択肢を選ぶ形式だったが、3 年ぶりに「適している」選択肢を選ぶ形式である。 |
| IV [発音アクセント] (やや易) | 受験生にとって見慣れない単語はほとんどないと言ってよい。アクセントの正確な知識と、(b)，(c) においては -o- の正確な発音を知っているかどうかが正解のカギとなる。 |
| V [語句整序] (易) | 語彙の難易度は標準的で、基本的な文法の理解で一部の熟語も消去法で導き出せる。 |

全体的に易化した。目標は 80%

本解答速報の内容に関するお問合せは

医学部専門予備校

英進館メビオ 福岡校

医学部専門予備校
メビオ

☎ 0120-146-156
<https://www.mebio.co.jp/>

☎ 0120-192-215 受付 9:00～21:00(土日祝可)
福岡市中央区渡辺通4-8-20 英進館 天神本館新2号館2階
<https://www.mebio-eishinkan.com/>

医学部専門予備校
YMS

☎ 03-3370-0410
<https://yms.ne.jp/>



無料登録で全科目を閲覧！
メールマガジン
◀ 英進館メビオのメルマガ登録はこちらから